

平成31年2月4日

養牛・養豚農家、関係機関の皆様へ

韓国で口蹄疫（0型）が発生（続発）

平成31年1月29日（火）及び31日（木）、韓国の養牛農場において口蹄疫の2例目及び3例目の発生が確認されました。

1 発生状況及び対応

(1) 2例目農場 京畿道安城市養牛農場（97頭飼養）

1月29日（火）、牛3頭が流涎、跛行等の症状を呈したため通報。同日、口蹄疫ウイルス（0型）を確認。

(2) 3例目農場 忠清北道忠州市（11頭飼養）

1月31日（木）、牛1頭が流涎、水疱等の症状を呈したため通報。同日、口蹄疫ウイルス（0型）を確認。

(3) 防疫措置

- ・ 韓国全域で48時間の一時移動停止及び一斉消毒
- ・ 3週間の家畜市場閉鎖、集中消毒（毎日）
- ・ 全国のすべての牛・豚への緊急ワクチン接種
- ・ 畜産関係者の集まりの禁止、消毒ポイントを拡大して消毒を強化



2 皆様へのお願い

(1) 飼養衛生管理基準の遵守の徹底を！

- ①関係者以外の農場への立入を制限し、人・車両の出入り時に消毒等を徹底
- ②口蹄疫発生国への渡航を自粛、また、発生国に滞在歴があるなどウイルスを伝播させる可能性のある人及び物品を農場等に近付けない

(2) 早期発見・早期通報を！

右の症状を呈している家畜を
発見した時は、遅滞なく
当所まで届け出てください。

- ①発熱(39℃以上)、流涎(よだれ)、跛行、乳量低下
- ②口、鼻、蹄、乳頭に水疱、びらん、潰瘍の形成
- ③複数の家畜に症状が認められる

愛知県西部家畜保健衛生所 開庁時 0569-72-0344 閉庁時 090-1780-9359

尾張支所 開庁時 0568-81-1874 閉庁時 080-3285-4870